

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	TV Broadcasting Engineering		
英文授業科目名	TV Broadcasting Engineering		
開講年度	2007年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	外山 昇		
居室	P-613		

公開E-Mail	授業関連Webページ
toyama@fedu.uec.ac.jp	http://www.fedu.uec.ac.jp/~toyama/

<p>【主題および達成目標】</p> <p>本科目は全て英語で行う授業です。従って、英語に興味をもっていることが必須です。どの程度英語力が 必要かは、最初の授業に出席して確かめてください。本授業はTV放送技術の概要を学ぶことが目的で す。本授業の到達目標は半年間の勉強のあと、放送がどのような技術により支えられているかを理解する ことです。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>まず、英語の勉強を十分に行っておいてください。特に特別な専門知識は必要としません。日頃から TV放送が放送局から自分のところにあるTV受像機に到着するまでに使われている技術について考 え、それを、television, screen, flicker, ghost signal, horizontal scanningのような優しい英語で言えるように練習 しておいてください。土曜日（期日は未定）に送信設備の見学に行きます。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>英会話ができることが望まれる。本授業はクラスにおける討論を重視するので、英語で自分の考えを表現 する練習をしておく授業が大変楽しくなります。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【教科書等】

教科書：プリントを配布する

【授業内容とその進め方】

配布したプリントに従って、放送技術の基礎を勉強するとともに、放送に関する新聞記事を使ってクラスで議論する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

本授業は短期留学プログラムの留学生と一緒に学びますので、出席点を重視します。事前の連絡なく3回欠席すると、単位を取得することは出来ません。出席点と、レポート及び期末試験で成績を評価します。

【オフィスアワー：授業相談】

授業中に予約するか、電子メールで連絡してもらえば、出来るだけ相談に応じるようにします。

【学生へのメッセージ】

とにかく、初回の授業に遅れずに出席してください。英語でなくても、途中から人の話を聞いて分かる人はいません。

【その他】